

第11回
全国私立大学附属・併設中学校・高等学校
教育研究集会
プログラム

少子化・国際化・情報化の中で
～生徒の多様性にどう応えるか?応えるべきか?～

2006年11月18日(土)～19日(日)

於 早稲田大学本庄高等学院
〒367-0035 埼玉県本庄市西富田 1136
TEL0495-21-2400 FAX0495-24-4065
E-mail honjosh@list.waseda.jp
Web www.waseda.jp/honjo/honjo

1. 参加費・昼食費について

- ① 当研究集会の加盟校については、参加費無料です。
- ② 加盟校以外から参加の先生は、参加費として 3000 円をお願いします。
- ③ 11 月 18 日（土）の昼食は本学院食堂（地図②）、同キャンパス内にあるレストラン「馬車道」（地図⑬）をご利用いただけます。19 日（日）の昼食はお弁当（1000 円）となります。19 日参加の方につきましては受付時に昼食代を徴収いたします。
- ④ 校長・幹事会議の昼食（地図⑤2F 大会議室）はこちらで準備いたします。

2. テーマ

少子化・国際化・情報化の中で ～生徒の多様性はどう応えるか？応えるべきか？～

少子化は私学教育に対して大きな変革を求めてきました。深刻な学力低下の一方で叫ばれる SSH(Super Science High School)に代表される先端的な教育の必要性、社会の国際化・情報化等複合的なうねりの中で、私学は常に敏感な対応を社会から求められています。多様化する生徒の素養と人格を高め個性・能力を伸ばす教育が必要とされているのです。

新たなスタートを迎える本研究集会では、現代における私学の社会的役割を考えるべく、このようなテーマにいたしました。皆様にとって実りの多い二日間になれば幸いです。

3. プログラム

日時	内容
11/18 (土)	
11:10~12:00	授業参観(指定授業、別紙参照)・・・希望者
12:00~14:00	昼食 (参加校校長・当集会の幹事は校長・幹事会議・昼食会を行います)
14:00~	開会式(大教室、地図⑦)
14:00~14:05	ご挨拶(当研究集会会長・早稲田大学本庄高等学院長:尾崎 肇)
14:05~14:10	歓迎の言葉(早稲田大学本庄高等学院 当研究集会担当:半田 亨)
14:10~15:10	基調報告第一部「共学化」 報告1:竹島 和正(中央大学附属高等学校) 報告2:佐々木 幹雄(早稲田大学本庄高等学院)
15:10~15:30	休憩
15:30~16:30	基調報告第二部「一貫教育」 報告1:松田 博志(甲南高等学校・中学校) 報告2:高橋 利之(群馬県立中央中等教育学校)
16:45~17:45	生徒研究発表(プレゼンテーション) 発表1:ESSクラブによる発表 (Learning in International Exchange Programs) 発表2:スーパーサイエンスクラブによる小笠原の実地踏査研究報告 発表3:卒業論文の研究発表(途中経過)
18:00~20:00	懇親会(レストラン馬車道、地図⑤)
11/19 (日)	
9:00~9:45	Campus Excursion(里山であるキャンパスのガイド付き散策)
10:00~	分科会(下記参照)
10:00~11:30	分科会1
11:30~12:30	昼食
12:30~14:00	分科会2
14:00~14:15	休憩
14:15~15:00	閉会式 分科会報告 次年度会場校よりご挨拶 閉会の言葉(名古屋国際中学校・高等学校)

※ 懇親会

同キャンパス内にあるレストラン「馬車道」(地図⑤)で行います。参加費4000円です。

※ 分科会

分科会	
分科会 1 10:00~ 11:30	<p style="text-align: center;">分科会</p> <p>A：学校における著作権・肖像権の扱い、およびその教育 【芸術棟地下 PC 室】</p> <p>デジタル化・情報公開・個人情報保護の動きが社会的に進む昨今、学校現場におけるその扱いもまた頭を悩ますところではあります。例えば Web により教育の特色を社会へアピールすることは当たり前のことになりつつありますが、一方で肖像権への配慮から顔の判別できない遠景写真を用いたり顔をぼかすことから、逆に学校の「勢い」が伝わらなくなってしまうという話をよく耳にします。また、学校での利用について著作権が緩和されている例もありますが、よくわからないという声も聞きます。</p> <p>この分科会では学校における著作権・肖像権の扱いを改めて確認するとともに、デジタル社会に生きる良識ある社会人を育成するという意味で、教育にどう取り入れていくかを考えます。</p> <p>1. 三橋 信司（社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会） 2. 辰巳 丈夫（東京農工大学）</p> <p>司会：半田 亨 書記：川鶴 進一</p>
	<p>B：学校における研究活動とその成果 【C204 教室】</p> <p>小中高を問わず、「調べ学習」「自由研究」「卒業論文」「発表プレゼンテーション」など、研究活動を重視する動きが広がっています。</p> <p>この分科会ではそのような活動の事例を見るとともに、研究活動教育の目指すものを確認し、より教育成果を上げるための方策を考えます。</p> <p>1. 小瀬川 康雄（慶應義塾湘南藤沢中高等部） 2. 橘 孝博（早稲田大学高等学院）</p> <p>司会：上田 太郎 書記：影森 徹</p>
	<p>C：国際理解教育とその成果 【C103 教室】</p> <p>社会の国際化・情報化の進展とともに、積極的に生徒たちの異文化間コミュニケーションの経験を増やそうとする動きが増えています。今や、国外への修学旅行やホームステイ・語学研修は珍しいことではなくなりました。また、研究活動におけるコラボレーションや模擬学会、通常の授業や部活動での交流など様々なレベルでの活動が見られます。</p> <p>この分科会では様々な国際理解教育の事例を見るとともに、その成果を上げるための方策を考えます。</p> <p>1. 澤武 潤子（甲南高等学校・中学校） 2. 三崎 良章（早稲田大学本庄高等学院）</p> <p>司会・書記：望月 真帆・青木 宏</p>
分科会 2 12:30~ 14:00	<p>D：特色ある教育プログラム 【C103 教室】</p> <p>学校のネットワークインフラの整備、教育の情報化、国際教育や研究活動の重視などにより、ユニークな教育プログラムが各校で実施されています。文部科学省や各自治体が進めている Super Science High School、Super English Language High School、教育特区などのプロジェクトも広く知られるようになり、教育プログラムは多様化・広範囲化しています。</p> <p>この分科会では様々な教育プログラムの事例を見るとともに、その教育効果を上げる方策について考え</p>

ます。この教育研究集会の学校ネットワークを中心とした新しいユニークな教育プログラムが作られるきっかけにできれば、と願っております。

1. 河端 奈々（昭和女子大学附属昭和中学校・昭和高等学校高等部）
2. 関口 隆一（筑波大学駒場中高等学校）

司会：影森 徹 書記：望月 真帆

E：生徒の住む情報環境とモラル指導 【芸術棟地下PC室】

100%近い中高生が携帯電話を持ち、半分近い家庭でブロードバンド接続をしている現在、生徒の情報生活は私たち教師にとって計り知れない世界になりつつあります。その中で生徒たちは、様々なハイテク犯罪の可能性にさらされています。ハイテク犯罪は、被害者のみならず簡単に加害者にもなり得てしまうところにその特徴があります。

この分科会ではその実態を知り対策を考えるとともに、授業でどう指導するかを考えます。

1. 田村 研輔（埼玉県警察本部生活安全部生活安全企画課サイバー犯罪対策係）
2. 小泉 カー（尚美学園大学）

司会：半田 亨 書記：上田 太郎

F：楽しく意義深い学校生活を目指して 【C204 教室】

社会の情報化の進展や生徒の意識と生活習慣の変化、治安の悪化などにより、年々生徒指導の質が変わりつつあるとともに、生徒の登下校時のみならず学校内においても不審者への配慮を怠ることができなくなっています。生徒の人間関係や悩みの質も変化し、カウンセリングも必須のものとなりつつあります。

この分科会では生徒指導・生徒の安全環境づくり・人権保護等を含め考えます。

1. 瀧野 揚三（大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター）
2. 田邊 潤（早稲田大学本庄高等学院）

司会：川鶴 進一 書記：青木 宏